

## 研究実施のお知らせ

### 研究課題名「ANCA 関連血管炎の寛解導入・維持療法における治療成績と 有害事象の検討」

#### 1. 研究の対象となる方

2015 年 4 月 1 日から 2025 年 11 月 30 日までに山梨大学医学部附属病院リウマチ膠原病内科  
(第 3 内科)に受診したことがある ANCA 関連血管炎の方へ

#### 2. 研究期間

研究機関の長の許可日    ～    2029 年 3 月 31 日

#### 3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

利用開始予定日：2026 年 2 月 1 日

#### 4. 研究の目的

ANCA 関連血管炎は肺や腎臓など全身の様々な臓器に異常を引き起こす疾患です。これまでは副腎皮質ステロイドや免疫抑制薬を組み合わせた治療が主流でしたが、近年では分子標的薬が登場し、治療法が進歩しています。ANCA 関連血管炎の病型や症状には地域差があるといわれており、日本人 ANCA 関連血管炎患者さんに応じた治療の最適化が必要とされます。それには現状の治療実態を明らかにする必要があり、ANCA 関連血管炎の治療内容や治療後の経過、副作用の発生などを調査することが本研究の目的です。

#### 5. 研究の方法

これまでに当院を受診された対象者の診療情報、血液検査結果、治療内容等を診療録から抽出してデータベース化を行ないます。その後、収集したデータの統計解析を行なうことによって症状や重症度別、治療薬ごとの効果や副作用の発現を調べます。

#### 6. 研究に用いる試料・情報の項目

情報：患者基本情報(性、診断時の年齢、臨床症状、併存疾患、診断名)、血液検査結果(血算(白血球数、ヘモグロビン濃度、血小板数など)、生化学(肝逸脱酵素、血清クレアチニン、推算糸球体ろ過量など)、免疫学的検査項目(ANCA など))、治療内容(グルココルチコイド、免疫抑制薬、生物学的製剤、分子標的薬の使用状況、治療後の経過、有害事象(感染症や骨折など)の発生)

試料：該当なし

## 7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

## 8. 研究組織

【研究責任者】

山梨大学内科学講座リウマチ膠原病内科学教室 学部内講師 花井俊一朗

## 9. 試料・情報の管理について責任を有する者

山梨大学

## 10. 個人情報の取扱いについて

研究者等は、研究対象者の個人情報保護について、適用される法令、条例を遵守します。また、研究対象者の個人情報およびプライバシー保護に最大限の努力を払い、本研究を行う上で知り得た個人情報を漏らすことはありません。

## 11. 利益相反について

この研究のために、企業等からの資金提供はありません。したがって、この研究の計画、実施、発表に関して可能性のある利益相反は存在しません。また、研究責任者及び分担研究者は、利益相反について本学医学研究利益相反審査委員会に申告し、適切な実施体制であることの審査を受けております。

## 12. お問い合わせ等について

本研究に関してご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望により、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書や関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、本研究に情報が用いられることについてご了承いただけない場合は研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

＜照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先＞

担当者の所属・氏名：山梨大学 内科学講座リウマチ膠原病内科学教室 学部内講師 花井俊一朗

住所：〒409-3898 山梨県中央市下河東 1110

メールアドレス：shanai@yamanashi.ac.jp

TEL：055-273-3113